

事務事業名	コード1	0605	心身障害児養育手当支給事業	課	社会福祉課			
	コード2			所属班	障害福祉班			
				<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	62-5351	内線	147
政策体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	5	障害者福祉の充実	科目	一般会計	03	01	02
	施策の展開	1	障害福祉サービス等の充実	根拠法令	旭市中心身障害児養育手当支給条例			
	基本事業	182	介護給付事業					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	20歳未満の知的障害児又は身体障害児を養育している者に、年間1万円の手当を支給する。 障害程度（知的）知能指数50以下《療育手帳B-1以上》 （身体）身体障害者手帳3級以上 ← 重度 ----- 軽度 → 療育手帳 OA-1 OA-2 A-1 A-2 B-1 B-2 身体障害者手帳 1級 2級 3級 4級 5級 6級 【業務の流れ】 手当の対象となる手帳を取得した障害児を監護する者に対し、年度末(3月)に申請書を送付。 支給決定をしたものに対し、年度末に1万円を振込む。1度申請をしたものは障害の程度が非該当にならないければ、年度末に振込み 通知を送付し、振込む。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	1万円×対象者数	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
② 延べ業務時間の内訳	年度末に3時間を8日程度	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,210	1,230	1,100	1,200	
事業費計(A)	千円	1,210	1,230	1,100	1,200	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
延べ業務時間	時間	24	24	24	24			
人件費計(B)	千円	91	91	91	91	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,301	1,321	1,191	1,291	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 手当の支給	ア 手当を支給した人数	人	121	123	110	120		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 手当の支給	イ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	心身障害児を養育する者	ア 手当の対象となる障害者手帳を持っている者	人	121	123	110	120		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
経済的な負担の軽減	ア 経済的負担の軽減を感じた人数	人							
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
		ア							
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
不明 合併前は、旧旭市のみにあった事業	対象者、根拠法令に変化はない。 対象人数が22年まで増加傾向だったが、23年に年齢到達による資格喪失により減少。	年に1度1万円の手当のためか、感謝の意見は寄せられていない。

事務事業名	心身障害児養育手当支給事業	課名	社会福祉課	班名	障害福祉班
-------	---------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 手当を支給することにより、経済的負担を軽減できる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 手当を支給することにより、少なくとも経済的負担を軽減できる。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 国の事業及び、市の事業(3/4国補助)で手当の支給があるので、市が行わなければならない事業とまでいえない。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 年額1万円の手当では、成果をあげられない。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 年額1万円を増額すれば成果の向上が見込まれる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(特別児童扶養手当、障害児福祉手当) (2) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の事業で月額単位のものがあり、金額も本事業より高い。 本事業は年額1万と低く、見舞金的な扱いになっており、経済的な負担を軽減できるほどの有効性があるとは思えない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 単価が1万以下では、成果が上からないので事業としてない方がいい。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 特になし。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 手当対象の障害の範囲が中度以上であること。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	昨年の評価の結果として、事業効果が薄く廃止検討が進めたが、廃止には至らなかった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果		向上																				
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
① 廃止時期の検討(一案 保護者の要望が多い、訓練等を行う通所の施設の整備を図り本手当を廃止する。)																						
② 事業廃止																						
③																						
④																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
① 対象者の理解を得る手立て																						
②																						
③																						
④																						